



一人一台パソコンを使った学習が 始まります

鹿島市教育委員会

文部科学省

GIGAスクール構想※

鹿島市立小中学校

- ・児童生徒一人に一台ずつのパソコンの整備
- ・校内に高速大容量のネットワーク整備

文部科学省の「GIGAスクール構想」を受け、鹿島市立小中学校で「児童生徒一人に一台ずつのパソコンの整備」、「校内に高速大容量のネットワーク整備」が完了しました。

一人一台パソコンを使った学習がスタートします！

これまでの
教育実践



ICT



- ・学習活動の一層の充実
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

授業での活用例 (鹿島市一人一台PC推進委員会の意見より)



どんどん学習を進めたり、分からなかったことを振り返ったりするなど、自分のペースで学習を進める。

自分の学習の様子（発表、英語のスピーチ、合奏・合唱、体育など）を録画し、自身で振り返ることで技能の上達に結びつける。



話し合いをしながら、その場でインターネットで情報を集めたり、集めた情報を基に再度話し合ったりしながら、考えを深める。

一人一人の考えを拡大して表示し説明をしたり、共同作業で資料を作成したりする。



他にも、様々な使い方をしながら、学習の一層の充実を図ります。

※2019年に文部科学省が提唱した「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」。GIGAとはGlobal and Innovation Gateway for Allの略。

一人一台パソコンについてのQ&A



Q：パソコンは家に持って帰ってくるのですか？

A：まずは、学校のみでの使用となります。今後、家庭に持ち帰っての使用についても検討を行います。特別な場合（感染症拡大による長期間の一斉休校など）の際に、家庭でも使用できるように計画・準備を進めています。

Q：教科書やノートは使わなくなるのですか？

A：これまでと同様、紙の教科書やノートを使っての学習は続けていきます。その中で、パソコンを効果的に活用し、学習をさらに充実させていきます。

Q：子どもがパソコンを壊してしまったら、どうなるのですか？

A：児童生徒がパソコンを破損させてしまった場合の修理の代金は、鹿島市で負担します。ただし、故意に破損させたり、きまりを守らないで破損させたりした場合などには、修理代を保護者さまに負担いただくこともあります。

Q：進級したら、毎年パソコンも変わるのですか？

A：新規に購入したパソコンについては、一度貸し出しされたものを卒業するまで持ち上げて使用することとなります。小学校を卒業したら、中学校で新たにパソコンを貸し出されることとなります。

Q：有害なサイトにつながったりはしないのですか？

A：全てのパソコンにフィルタリングをしていますので、学習で活用するサイト以外にはつながらないようになっています。また、各学校において「情報モラル教育」をさらに充実させ、学校以外でのインターネットの正しい利用についても指導を行います。

その他、お尋ねになりたいことなどありましたら、
鹿島市教育委員会（☎0954-63-2103）までご連絡ください。